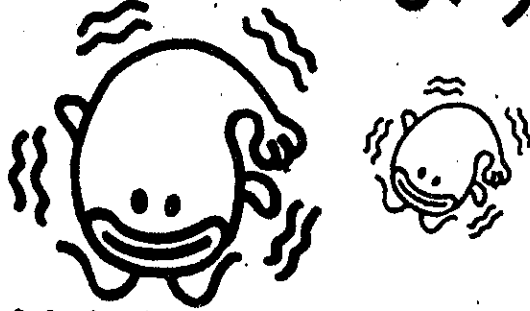


# 衣川台なまず通信

第8号



発行 衣川台自主防災部

発行日 2007年1月25日

## ご参加おつかれさまでした

平成18年11月23日(祝日)衣川台自主防災部、第3回防災訓練が行なわれました。そのあと仰木の里東小学校で実施された仰木の里の総合防災訓練に合流して参加しました。衣川台の参加者は、約140名と最大の参加者で全体の約30%を占め、防災意識が高いことを示すことができました。

### ☆ 衣川台第3回防災訓練(8時~9時)

- ① 避難の呼びかけ
- ② 「避難先記入票」に記入し玄関に貼り付け
- ③ グループリーダー宅前に集合
- ④ 組長宅前に集合し、グループリーダーが避難者人数を報告
- ⑤ 南公園に集合し、組長は本部情報班に避難者人員報告 180名
- ⑥ 仰木の里東小学校へ歩いて避難(南ルート) 140名

### ☆ 仰木の里自主防災会総合訓練(9時~12時)

- ① 防災部長より本部へ避難人員と被害状況の情報伝達訓練
- ② 消防署職員の指導のもとに次の訓練に参加、見学 140名  
救助機材の使用法(ジャッキ、チェーンソー、発電機など)  
救助訓練(止血や骨折の処置、応急タンカの作成と搬送)  
初期消火訓練(バケツリレーや消火器)
- ③ 仰木台自主防災部による動力ポンプ放水訓練
- ④ 消防分団によるポンプ操法模範演技の見学

当日はかなり寒い中、殆どの方が最後まで約4時間の訓練にご参加いただき、ありがとうございました。最後に給食班で炊き出されたおにぎりや、豚汁をおいしくいただきました。

当日の  
記録写真  
南自治会館に掲  
示しています。  
ぜひご覧下さい

### 参加者に感想を、お聞きしました。

6組のAさん、Nさん、Mさん

避難コースを歩いてみて、距離とか途中にあるものなど実感しました。同じ組の人とも話しながら歩くので親しみができ、安否確認のとき顔が分かります。参加してよかったと思います。負傷者になってリヤカーに乗ったAさん、Oさん

私達は、二人で座っていたのですが窮屈、道もガタガタで不安もあり、坂道では搬送も大変でしょう。

男性Aさん

訓練だと思えば、緊張感がない。本当はこんなものではないだろう。

男性Bさん

思ったより盛りたくさんの内容で、全部体験できたので有意義だった。

# 所属の「安否確認グループ」とその「リーダー」をおぼえましょう

大地震の時には家屋の損傷や家具の倒壊が、その大小は別として、必ずあると覚悟しましょう。

- ① [家族]で対処する
- ② 近所の[グループ]や[組]の皆が力を合わせる
- ③ [防災部]として組織の全力を結集する

このような手順で消防等の防災機関に頼らない自衛の方策を確立する必要があります。この目的のため、私たちは独自の安否確認システムを構築しました。各家庭の安否をいち早く把握し対応する上で、的確な情報の発信と伝達システムは不可欠です。

防災情報班は衣川台の本部と皆様方をしっかりとつなぐことを念頭に、毎年の訓練を通じて習熟と改善を図りたいと思っております。

(防災部情報班)

## 活動班の募集

防災活動を活発にするために 皆さん！！

活動協力員に積極的に参加しましょう

毎月1日には、体験利用できます

## 防災ひとロメモ その6

### 「災害伝言ダイヤル」

大地震が起き、電話がかかりにくくなった時に連絡をとる手段「災害伝言ダイヤル」の使い方を覚えておきましょう。これは加入電話、公衆電話、携帯電話、PHSからも利用できますが、伝言を登録できるのは、電話がかかりにくいとNTTが判断した地域の加入電話の番号に限られます。登録できる地域は、NHKの放送でもお伝えします。右の部分を切り取って、防災マップに貼っておきましょう。

### ★災害伝言ダイヤル

「171」(イナイ)

→音声案内→「1」を

ダイヤルして録音

伝言を聞く場合

「2」をダイヤル